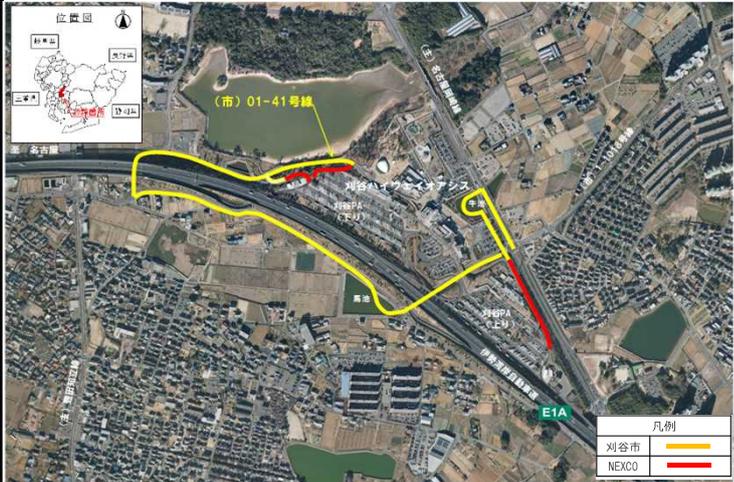
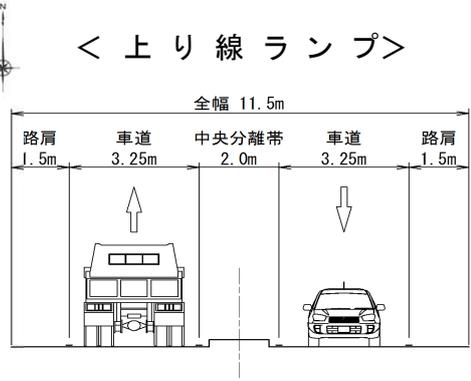


再評価結果（令和２年度事業継続箇所）

担当課：環境安全・防災課
 担当課長名：渡辺 学

事業名	スマートICアクセス 市道01-41号線		事業区分	地方道	事業主体	あいちけんかりやし 愛知県刈谷市
起終点	自：愛知県刈谷市東境町石神 至：愛知県刈谷市東境町松ヶ枝				延長	1.9 km
事業概要	市道01-41号線は、刈谷市の北部に位置する（仮称）刈谷スマートICのアクセス道路であり、渋滞緩和、地域活性化等を目的とし、スマートICと併せて延長1.9 kmのアクセス道路を整備するものである。					
H30年度事業化	都市計画決定 不要		用地取得なし		H30年度工事着手	
全体事業費	約11億円		事業進捗率	約56%	供用済延長	— km
計画交通量	4,900台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業費)/(総事業費)	総便益	(残事業費)/(総事業費)	基準年
	(事業全体) 24.8	2.9/6.3億円		156/156億円		令和元年
	(残事業) 53.8	事業費 1.2/4.6億円	}	走行時間短縮便益 117/117億円	}	
		維持管理費 1.7/1.7億円		走行経費減少便益 33/33億円		交通事故減少便益 6.0/6.0億円
感度分析の結果	(事業全体) 交通量 : B/C=22.2~27.5(交通量 ±10%) (残事業費) 交通量 : B/C=48.3~59.7(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=23.3~26.9(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=52.0~55.7(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=23.0~25.5(事業期間 ±20%) 事業期間 : B/C=51.7~54.3(事業期間 ±20%)					
事業の効果等	・主要渋滞箇所を通過する大型車の経路転換や幹線道路の利便性向上が期待される。 ・第一次緊急輸送道路である伊勢湾岸自動車道へのアクセス性向上による緊急輸送道路ネットワークが強化される。					
関係する地方公共団体等の意見	・商工会議所等から早期開通を要望されている。					
事業評価監視委員会の意見	・事業を継続するのが相当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	—					
事業の進捗状況、残事業の内容等	早期完成を目指し、道路改良工、橋梁工等の工事を推進していく。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地取得率100%、事業進捗率約56%					
施設の構造や工法の変更等	発生土の仮置きによる再利用や、他工事からの受入れ、工事間流用を行うことによりコスト縮減に努めながら事業を推進する。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					
事業概要図						
						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。